

# イクメンが当たり前の社会に！

～「こうベイクメン大賞」の開催～

平成23年6月19日の父の日に男性が子育てを楽しむことが当たり前となる世の中にしようと「こうベイクメン大賞実行委員会」が神戸市と共催で「こうベイクメン大賞エピソード募集」と「こうベイクメン学級会」・「こどもたちからの給食」を神戸市立地域人材センターで開催しました。

今年度は、総合プロデューサーに大阪府立大学准教授の花村周寛氏を迎え、昨年に引き続き「こうベイクメン大賞」のエピソードを募集、認定、エピソードをプリントしたミニTシャツの展示を行い、さらに子育てにかかわる50人のおとなたちが集まり『イクメンスゴロク』をつくりながら、『イクメンが当たり前の社会』について意見交換を行いました。

参加者は数人のグループに分かれ、花村准教授が考案したオリジナルのすごろくゲームに参加。子育てによってどういう行動がプラスで何がマイナスか自身の体験などをマス目には書き込み、最終的にマス目が出揃った時点で女性が採点をしました。

プラスのマス目は「子どもに絵本を読んであげた」、「学校行事に参加した」など。マイナスは、「無言で帰宅する」、「(子どもが)ぐずったときに寝たふりをした」など。

**高得点と思い込んでいたものが、評価は当たり前と得点がわずかなものもある一方、子育てに対する妻へのねぎらいや、感謝の言葉に高い得点が付けられるなど、反省しきりの男性参加者もいました。**

「こうベイクメン学級会」の間、こどもたちは給食調理師の指導の下、給食づくりを通して調理体験をしました。できあがったカレーライス会場でご家族一緒に楽しくいただきました。



募集したエピソードをTシャツにプリントし展示。後日応募者にプレゼント。



スゴロク作りを通して意見交換する参加者。



すごろくのマス目に子育てに関する自身の体験等を書き込む。



出揃ったマス目を女性が採点。



給食調理師の指導の下、子どもたちが調理体験。



子どもたちの調理したカレーライスをご家族でいただきました。